

世田谷区立塚戸小学校

PTA 会長 松本 萌子

家庭教育学級委員長 古屋 直子

第2回家庭教育学級

「遊びは学び」～図工から紐解く子どもの学びとは～

平成29年12月5日、本校の図画工作教諭 田浦 海太郎 ジャン先生を講師にお招きし、第2回家庭教育学級を開催しました。当日は、90名を超える多くの保護者の方にご参加いただき、先生のお人柄も垣間見れて、大変楽しく有意義な講演会となりました。一部ですが、講演内容をご紹介します。

【図工とは何を学ぶ教科なの？】

昔と今の図工の内容の違い

昔…昔の教科書は『友だちを描こう』『よく見て描こう』(そのものを描く・作る)

今…どんな世界かな？作ってみよう！(自分で感じたものを描く・作る)

自己対峙や、自己認識などを繰り返して、『自分らしさ』を得ていく教科へ

【子どもをほめるポイント】

- ・どんなことを考えて描いて(作って)いるのかを見てあげる
- ・この作品の、ここが好き！ここがいいね！と褒めてあげる

【今を生きる教科 図工】

- 1 言語活動の充実(友達と関わきましょう)
- 2 技能く表現(描き方よりも、描きたいものを見つけましょう)
- 3 造形あそびの充実(味わいましょう)

図工は、遊ぶなかで豊かな表現力を身に付けていく教科である

⇒ 『お子さんをたくさん遊ばせてあげてください』



～～お子さんに聞かせてあげてください～～

【彫刻家 佐藤忠良(1912～2011)さんの言葉】

ずがこうさくのじかんは じょうずにえをかいたり じょうずにものをつくるのが めあてではありません。きみのめでみたことや きみのあたまでかんがえたことを かいたり つくったりしなさい。こころをこめて つくっていくあいだに しぜんがどんなにすばらしいか どんなひとになるのがたいせつか ということがわかってくるでしょう。これが めあてです。

【フィンランド教育】

答えが合っても間違っても、自分が思う答えを言うこと、自分の意見を言うことが大切。大事なのは、あなたがどう考えているのかということ。みんなとは違う意見を言ったとしても、そこから議論して、全員の学びにつなげることができる。(以下省略)

～～参加した方の感想～～

- ・「たくさん遊ぶ」ことや「自分らしさを見つける」ことの大切さを感じることができた。
- ・子どもが図工の時間が好きな理由が分かった。
- ・田浦先生の子どもたちへの教育の考え方に共感した。

★★★次回の講演会のお知らせ★★★

1月23日(火)10時半～ アテネ・北京オリンピック連続銅メダリスト 競泳 中村 礼子さん